

TCFD・TNFD レポート 2024 の公表について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、気候関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Climate-related Financial Disclosures、以下「TCFD」）※1 および自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures、以下「TNFD」）※2 に基づき、当社の TCFD・TNFD に関する取り組みを、ステークホルダーの皆様に対してより詳細にお伝えすることを目的として、「TCFD・TNFD レポート 2024」（以下、「当レポート」）を発行しました。

※1 G20 の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により、気候関連の情報開示および金融機関の対応をどのように行うかを検討するために設立された、国際的イニシアティブ（2017年6月最終報告書公表）

※2 2021年6月設立の国際イニシアティブであり、生物多様性の喪失により発生するリスクおよび自然保護への移行がもたらす機会に関する開示フレームワークの開発を目的とする（2023年9月最終提言公表）

当社は、2018年12月にTCFD提言に賛同、2024年1月に「TNFD Adopter」※3 に登録しており、当レポートは、TCFD提言・TNFD提言を参照しております。TCFD提言とTNFD提言は開示フレームワークの項目が共通であり、当社はTCFD・TNFD合作のレポートを発行することにしました。

※3 TNFD提言に則した情報開示を行う意思を示した企業・組織。

TCFD・TNFD レポート 2024 のポイント



- ▶ 当社グループのサステナビリティ経営における重点領域である「人」「地域社会」「地球環境」のうち、特に「地球環境」に焦点を当てた取り組みを記載しています。
- ▶ 温室効果ガス等のネットゼロに向けた移行計画、自然と共生する世界の実現に向けた自然資本に関するリスク分析・戦略等について記載しています。



当社グループは、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現への貢献を通じた企業価値向上を目指し、あらゆる事業活動においてサステナビリティ経営を推進しています。その中でも「人」「地域社会」「地球環境」の3つを重点領域と定め、「地球環境」の領域においては、“豊かな地球環境を未来につなぐ”ことをサステナビリティ重要課題として掲げ、気候変動や自然資本・生物多様性の問題、循環型社会への対応等に取り組んでいます。今後も、2050年度温室効果ガス等のネットゼロおよび自然と共生する世界の実現に貢献してまいります。

■ 「TCFD・TNFD レポート 2024」はこちらの URL からご覧いただけます。

<https://www.nissay.co.jp/kaisha/annai/gyoseki/tcfdtnfdreport.html>

以 上

2023-4354G, 広報部